

- 問1 日本の冬の気候に大きな影響を与える、ユーラシア大陸から日本海を越えて吹き付ける冷たく湿った風を何といいますか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 偏西風 2. 北西の季節風 3. 南東の季節風 4. やませ
- 問2 仙台駅から若林区にかけての地域では、南北に走る鉄道の東側に津波の浸水区域が広がり、鉄道沿いに宅地の被害が集中している様子がうかがえます。このような地形データと被害状況の関係について述べた文として、地理学的な観点から最も適切なものを選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 津波は標高の高い場所を好んで浸水させる性質があるため、鉄道沿いの宅地が意図的に狙われたといえる  
2. 鉄道の盛り土や標高のわずかな差が境界となり、浸水域や被害の程度に大きな影響を与えていることがわかる  
3. 鉄道の西側は東側よりも標高が低いため、津波の被害は常に西側に集中するという法則が成り立つ  
4. 自然災害伝承碑が設置されている地点は、周囲よりも標高が極端に低いため、浸水被害を食い止める壁の役割を果たしている
- 問3 ある都市の気象観測データによると、夏季の六月と九月に降水量の大きな山があり、一ヶ月の降水量が四百ミリメートルを超える時期がある一方で、冬の気温は氷点下にならず、全体として温暖多雨な傾向を示しています。このような気候の特徴が見られる都市として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 香川県の高松市 2. 新潟県の新潟市 3. 高知県の高知市 4. 北海道の旭川市
- 問4 地形図から特定の地域の土地の様子を読み取る際、等高線の間隔が非常に狭くなっている場所について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
1. 土地が平坦であり、住宅地や田畑として利用するのに適している。  
2. 傾斜が急な崖や急斜面になっており、短距離で標高が大きく変化している。  
3. 周囲よりも標高が高い尾根筋にあり、雨水が左右に分かれる境界となっている。  
4. 標高が海面よりも低くなっており、干拓地や大規模な凹地である可能性が高い。
- 問5 三重県の志摩半島や福井県の若狭湾、岩手県の三陸海岸南部などに見られる、複雑な出入りを持つ海岸線において、その地形が形成された主な成因として正しいものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 山地の谷の部分に海水が入り込み、小さな岬と湾が交互に並ぶ地形となったため  
2. 川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、海に向かって平らな土地が広がったため  
3. 海流によって運ばれた砂が細長く伸び、入り江を塞ぐような堤状の地形ができたため  
4. 遠浅の海や湖を堤防で囲い、内部の水を排水して人工的に陸地を造成したため
- 問6 川が山間部から平地へと流れ出るところに見られる扇状地では、古くから果樹園として土地が利用されることが多くあります。このように、扇状地が水田よりも果樹園としての利用に適している理由を説明したものとして、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 山地から運ばれた礫や砂が多く堆積しており、水が地中にしみ込みやすく水はけが良いため。  
2. 標高が低く周囲から水が集まりやすいため、常に湿った状態を好む作物の栽培に適しているため。  
3. 粘土質の土壌が厚く堆積しており、水を地表に溜めておく力が非常に強いため。  
4. 地表面が平坦で保水力が高いため、灌漑施設を作らなくても大量の水を確保できるため
- 問7 ある地域の地形図において、地点Pは標高100mを示す等高線をわずかに超えた位置にあり、地点Qは標高150mを示す等高線の付近に位置しています。地点Pから地点Qまで直進して移動する場合の地形の変化について述べた説明として、正しいものを選択してください。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 地点Pの方が地点Qよりも高所に位置するため、全体として下り坂が続く。  
2. 標高が約50m低くなる下り坂を移動することになる。  
3. 2万5千分の1地形図では50mごとの等高線しか表記されないため、起伏は判断できない。  
4. 標高が約50m高くなる上り坂を移動することになる。
- 問8 ある地域の気象データによると、年平均気温が17.0℃、年降水量が2500mmを超えています。月別の降水量を見ると、6月、7月、9月の降水量が突出して多く、冬は乾燥して降水量が少ないという特徴があります。このような特徴を持つ日本の気候区分として最も適切なものを選択してください。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 中央高地の気候 2. 太平洋側の気候 (南日本型) 3. 瀬戸内の気候 4. 日本海側の気候
- 問9 日本の気候区分のうち、瀬戸内地域の気候の特色を正しく説明しているものはどれか。なお、この地域は北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているものとする。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 夏は南東の季節風により降水量が多くなり、冬は乾燥した晴天の日が続く。  
2. 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。  
3. 一年を通じて降水量が多く、特に梅雨や台風の時期には湿った空気が流れ込み、大雨になりやすい。  
4. 冬は北西の季節風の影響で雪が多く、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥して晴天が続く。
- 問10 地形図上の特定の二地点間を直線で結び、その線に沿った標高の変化をグラフのように横から見た図として表現したものを何というか、名称を答えなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 柱状図 2. 鳥瞰図 3. 断面図 4. 等高線
- 問11 ダムなどの水源から用水路を通して農地に水を供給することを灌漑といいます。地形図において、灌漑水路の標高を境に土地利用が変化する場合、水田が水路よりも標高が低い場所に多く見られる理由として適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 標高が低い場所は土壌に含まれる水分量が多いため、灌漑の必要がないから。  
2. 重力を利用して、追加の動力なしで水路から田へ水を引き入れることができるから。  
3. 標高が低い場所は平坦な土地が多く、機械を導入した大規模な稲作に適しているから。  
4. 水路より高い場所では、水田からの浸透水によって地滑りが発生する危険があるから。
- 問12 中央高地において、年間降水量が少なく、かつ夏と冬の気温差が大きくなる理由として、地形的な要因から説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 標高が非常に高いため、上昇気流が発生しにくく雲ができない一方で、太陽との距離が近いから。  
2. 周囲を高い山脈に囲まれており、湿った空気が遮られるとともに、海からの風による気温調節機能が働かないため。  
3. 盆地特有の地形でヒートアイランド現象が加速し、上昇気流が常に発生して乾燥した空気が引き込まれるため。  
4. 偏西風が山脈にぶつかることでフェーン現象が年中発生し、湿度が下がるとともに気温が急激に上昇するため。